

笑う門には 福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL (089) 946-3911
発行人：中村剛志

小池邦夫と坂村真民の世界

——いのちをつなぐ「心の絵手紙」展



3月11日(火)～6月1日(日)

坂村真民記念館(砥部町)

明朗・愛和・喜働

日本人の心の歌

明治から昭和にかけて歌い継がれてきた「唱歌」が見直されています。中には『故郷』のように、今でも広く愛唱されている名曲があります。歌詞には、四季折々の日本の美しい自然が詠われています。

『故郷』や『春の小川』『朧月夜』『紅葉』は、唱歌界の黄金コンビと呼ばれた、高野辰之氏と岡野貞一氏が作詞・作曲しました。高野氏は長野県豊田村(現・中野市)の出身で、『故郷』や『朧月夜』は故郷の景色を詠ったとされています。

『春の小川』は東京の代々木公園に流れる小川を歩きながら想を得、『紅葉』は今ももうない信越本線 熊ノ平駅付近からの風景を詠んだといわれています。

熊ノ平駅は、横川と軽井沢の間にあった山間の駅です。急勾配の線路をゆつくり走る機関車から眺めたであろう、色鮮やかな紅葉が歌詞に詠われています。

唱歌に詠われている美しい日本の風景は、少しずつ失われつつあります。しかし、唱歌を歌い継ぐことによって、その美しさは永遠に残るでしょう。私たちには、日本の国土の美しさや、日本人の心の美しさを伝える使命があるのです。

● 唱歌を歌い伝えましょう

「職場の教養」より

結女さんの松山ミクロン

何にでも

母鈴つけて

春近し

雛壇の

そこは私が

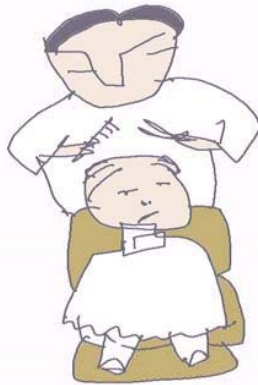
座る場所



八木健さんの川柳アート

髪の毛が減っても同じ散髪代

健



宇和ちゃんの啖呵山短歌

山を愛で山を育てて山を生き

山を残して父は逝きたり

父と見た夕空遠く行く雲よ

二度とは乗れぬあの肩車

欲張らず、頑張り過ぎず

あれもしたいこれもしたいと、頑張り過ぎていませんか？
ちょっと肩の力を抜いてみましょう。

道しるべ